

登録コード	A4B41200	開講年度	2026			
授業科目	食料生産システム科学実験				担当教員	諸白 家奈子 他
英文授業名	Experiments in Food Production System II					米倉 真一・高木 優二・根本 和洋・入枝 泰樹・生井 楓
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・3時限 木曜・4時限 金曜・3時限 金曜・4時限	対象学生
講義室	第4実験実習室		授業形態	実験	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	2 0 2 5 Aカリ					
	【2025年度以降カリキュラム対象】2.【専門性】 農学分野の専門的な学識と技術が身についている。				実験実習を通じて農学に関する基礎的技能、特に植物および動物の遺伝学、生殖学、生理学についての専門的な技術を修得することを目指します。	
	【2025年度以降カリキュラム対象】3.【情報分析・発信力】論理的な思考力のもと、多様な情報を収集・分析・活用できるとともに、効果的に伝えることができる。				実験実習を通じて農学に関する基礎的技能、特に植物および動物の遺伝学、生殖学、生理学についての専門的な技術を修得することを目指します。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	本実験では、植物および動物生産に関連するバイオテクノロジーの知識と実験手法を中心に学習する。					
(5)授業計画	第1回 植物感染生理学実験 1 (担当：入枝) 第2回 植物感染生理学実験 2 (担当：入枝) 第3回 植物感染生理学実験 3 (担当：入枝) 第4回 畜産微生物学実験 1 (担当：生井) 第5回 畜産微生物学実験 2 (担当：生井) 第6回 植物育種学実験 1 (担当：根本) 第7回 植物育種学実験 2 (担当：根本) 第8回 フィールドデーターサイエンス実験 1 (担当：近藤) 第9回 フィールドデーターサイエンス実験 2 (担当：近藤) 第10回 動物生理学実験 1 (担当：米倉) 第11回 動物生理学実験 2 (担当：米倉) 第12回 動物生殖学実験 1 (担当：高木) 第13回 動物生殖学実験 2 (担当：高木) 第14回 生殖細胞工学実験 1 (担当：諸白) 第15回 生殖細胞工学実験 2 (担当：諸白)					
(6)自主学習の指針	関連書籍、インターネット等による自主学習によって理解度を深める努力をして下さい。					
(7)成績評価の基準	秀：授業の達成目標水準から見て卓越している。（90点以上） 優：授業の達成目標水準よりかなり上にある。（80～89点） 良：授業の達成目標水準よりやや上にある。（70～79点） 可：授業の達成目標水準にある。（60～69点） 不可： 授業の達成目標水準にない。（59点以下）					
(8)事前事後学習の内容	各実習前に、実験内容について予習して下さい。また、課題レポートの作成に向け、「なぜ、このような実験結果が得られたのか」を十分検討し、その内容をレポートに反映させて下さい。					
(9)テストやレポートの予定	各実験実習に対するレポート提出は必須です。締切厳守。					
(10)成績評価の方法	実習への取り組み姿勢、小テスト・課題レポートを総合的に評価する。 秀：90点以上 優：80-89点 良：70-79点 可：60-69点 不可：59点以下					
(11)質問、相談への対応および連絡先	実習時間内は口頭で、それ以外の時間はメール等で対応します。 入枝：irieda@shinshu-u.ac.jp 生井：fu_namai@shinshu-u.ac.jp 根本：knemoto@shinshu-u.ac.jp 近藤：fkondo@shinshu-u.ac.jp 米倉：yonekura@shinshu-u.ac.jp 高木：ytakagi@shinshu-u.ac.jp 諸白：kmoro89@shinshu-u.ac.jp					
(12)履修上の注意	遅刻厳禁。 20分以上の遅刻は出席としてカウントしません。 実験実習に適した服装で出席すること。白衣着用、サンダル等禁止。					
【教科書】	実習時に資料を配布します。また、適宜参考文献を示します。					
【参考書】	なし					